

共同利用施設 案内

光学顕微鏡室

主任：榎原 智美

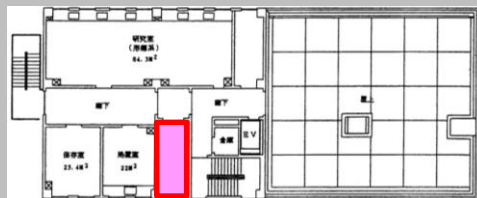
(内線：260／261)

場所：

5号館4階

内線：260(子機)

施設利用手引き

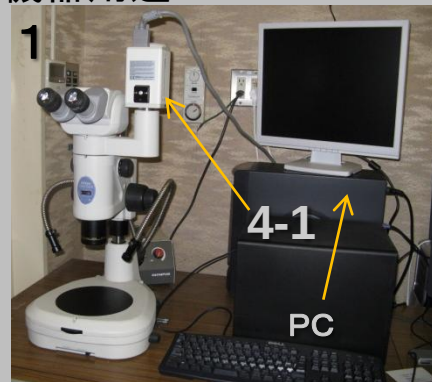


概要： 組織標本の実体顕微鏡、光学(一般・蛍光)顕微鏡による観察およびデジタルカメラ撮影と、取得したデータの簡単な画像処理ができます。

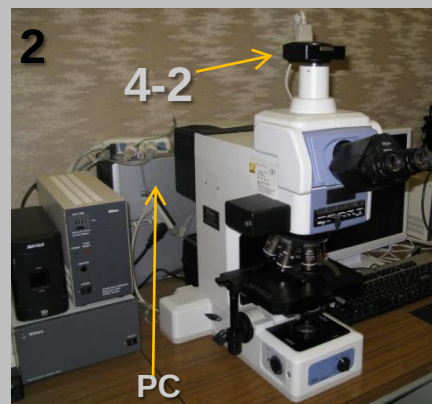
共同利用機器備品リスト：

1. 実体顕微鏡 (Nikon, SMZ-100, 1式)
2. 光学顕微鏡 (Nikon, E800, 1式)、
蛍光セット附属
3. 光学顕微鏡 (Nikon, E600, 1式)、
蛍光セット附属
4. 上記1, 2に顕微鏡用デジタルカメラ (Nikon, DXm1200／ACT-1 または DS-SMc／ACT-2) を搭載。
5. 上記3に簡易デジタルカメラ装着

機器用途



1. 0.75～25倍ズーム観察可能の実体顕微鏡(手動)です。顕微鏡用デジタルカメラが装着されており、パソコンモニター上で動画を観察しながら実体顕微鏡下の顕微解剖が可能です。



2. 一般染色または蛍光染色された光学顕微鏡標本を観察・写真撮影することができます。対物レンズは、x2～x100。観察できる蛍光色素は、代表的なものでは、DAPI, FITC, Texas Red です。



3. 上記2と同様。但し、一般用デジカメのみ搭載しています。

なお、パソコンのOSは、Windows XP。それぞれ簡易の画像解析ツールを搭載している。

光学顕微鏡室の利用について

2011. 6. 15.

主任 榎原 智美（内線260）

1. この部屋は、組織標本の顕微鏡観察と画像撮影および簡単な画像処理を行う研究室です。
（観察標本の作製は、原則として別の実験室で行います。）
2. 利用を希望される方は、予め主任に連絡し、予定を調整してください。利用時間は原則として10:00～17:00とします。ただし時間外（平日 10:00 以前、17:00 以降）の利用については、主任と相談の上利用してください。（無断で鍵を開けて利用できません。）
3. 観察内容により、機器等の調整が必要な場合があります。不都合のないよう調整しますので、利用者は必ず使用予定日を予約してください。また、予定していた利用を中止する場合は、他に利用する人のためにもすみやかに取り消してください。
4. 顕微鏡操作や写真撮影方法は、はじめに主任よりトレーニングを受けて下さい。
5. **対物レンズの取り扱いを特に慎重に行ってください。**
6. 顕微鏡を含む機器の使用はこの研究室内でのみ行い、使用後は清潔にして元の状態に戻して下さい。特に顕微鏡ステージまわりはきれいにして下さい。きれいに後片づけができない人は、以後の使用をお断りします。
7. **顕微鏡ランプの管理のため、観察開始と終了時刻を備え付けの台帳に記載して下さい。**
8. 顕微鏡写真や画像処理後のデータは、常に各自バックアップを取ってください。原則として、パソコン内に残っているデータは、消去されてもいいものとみなします。
9. 備品のパソコンはいずれも LAN 接続されていません。データ媒体は各自がご用意下さい。

パソコン内に残っているデータは、消去されてもいいものとみなします。✪

9. 備品のパソコンはいずれも LAN 接続されていません。データ媒体は各自がご用意下さい。
なお、媒体経由でコンピュータウイルスを絶対に持ち込まないように注意して下さい。✪
10. レンズペーパー、キムワイプ、レンズクリーナー等は研究室備え付けのものを使用して下さい。
節約を心がけ、無駄な使い方はしないよう気をつけてください。✪
11. 利用者各自の標本は、名前を明記して所定の棚に暫定保管するか、その都度持ち帰って下さい。室内に標本用の冷蔵庫はありません。保管した標本は利用期間終了後すみやかに片付けて下さい。✪

その他・注意点✪

- ◎ 万一、対物レンズを破損した場合、施設では賄えませんので、当該教室に高額負担して頂く✪
場合があるので注意して下さい。✪
- ◎ 蛍光灯の寿命は約 200 時間です。使用頻度により、蛍光灯を補充して頂くことがあります。(蛍光用水銀ランプの定価は1本税込み約 4.5 万円です。)✪
- ◎ 施設の指示を厳守し、他の利用者の迷惑にならないよう自覚を持って使用して下さい。✪
- ◎ 各自、安全に留意して、気持ちの良い研究を心がけましょう。✪

以 上 ✪